

福岡宣言 2018

1. いかなる健康状態であっても、自ら生き方を選択でき、
住み慣れた地域で自分らしく生きることが可能なまちを作ろう。
2. 当事者参加型の介護・福祉・医療、そして社会を実現するために、
地域住民や個人の自立的な当事者意識や選択を育成しよう。
教育(生涯教育も含む)や様々な社会活動を通して、人々が可能なかぎり自立し、
市民として社会に関わってていくことを目指そう。
3. どのような医療やケアを受けたいのか本人の意思決定を基本に考えよう。
本人の意思は変化しうること、
本人が自ら意思を伝えられない状態になる可能性があることを考慮し、
本人の生き方、価値観、想いをより深く理解し共有しよう。